

ユース通信Vol.4

武蔵大学SDGs 17 パートナーシップフェア

11月27日に武蔵大学の江古田キャンパス内で「SDGsパートナーシップ・フェア2024」が開催されました。アムネスティ・インターナショナル日本もこのイベントに出展し、ユースネットワークのメンバーで活動を行いました。

SDGsパートナーシップフェア

武蔵大学とオーストラリアのDeakin Universityの連携プロジェクトとして、国際教養学部のブライアン・マサハート准教授のもと2019年から開催されています。今年は19団体が出展し、武蔵大学の学生やDeakin Universityの留学生らと交流を楽しみながら、各団体が活動の紹介を行いました。また、参加者の中には、近くの高校の生徒や、外部からの来訪者もあり、終日盛り上がりを見せました。

活動内容

ニュースレターを用いてアムネスティの活動紹介をしました。また、人権侵害の改善に向けて署名や手紙を書くことの重要性や種々の人権問題の深刻さについてお伝えしました。その後、谷川俊太郎さんが簡単な言葉に訳した世界人権宣言を紹介するとともに、SDGs 17のそれぞれの目標を達成するためには、どんな権利が担保される必要があるのかをブースに立ち寄ってくれた方と一緒に考えました。

人権を絡めて、SDGsについての議論を深めることができ、貴重な時間となりました。また昨今、ユースの世代が手紙を書くことは少なく、風化してしまいかねない文化になっています。今回は、アムネスティが作成した、相手に届けたいくなるようなイラストのポストカードやクリスマスカードをお渡ししました。一人でも多くの方が署名や手紙を書き、文化を継承するとともに、活動が活発化すればいいと思います。

イベント紹介ページ

武蔵大学公式サイト:

<https://www.musashigakuen.jp/news/g64gpm0000000v2u.html>

公式Instagram:
mu_sdgs17fair24



ブースの展示



活動の様子